



シルバー通信

後期号：第42号（平成23年度）

発行：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

編集：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会広報

〒530-0035 大阪市北区同心1-5-27

大阪ボランティア協会 気付

FAX 06-6358-2892

ホームページ URL <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp>

“2012年（平成24年）年頭にあたって”

「明日のSAのために」

SA連協 理事長 和佐義顕（いけだ 19期・都市環境）



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、どのような新年を迎えられましたでしょうか。

幾度となく迎える年の初めですが、過ぎ去った昨年を振り返り、今年は、と、気を新たに、様々な思いを巡らしたいものです。「一年の計は、元旦にあり」です。

シルバーアドバイザー（=SA）活動は、永久に不滅です！！

SA活動は、公的媒体としてのボランティア活動であって、地区SAは、継続的に活動しているNPOと言っても過言ではありません。元々、「シルバーアドバイザー養成講座」とは、受講生が、修了後それぞれの住まいする地域をもって、地域福祉向上の推進役を担うことを目的にスタートした大阪府の事業でした。ボランティアリーダー養成という、先駆的な行政の取り組みが、ボランティア元年といわれた、阪神大震災より以前から、続けられ、その後今日のNPO法人大阪府高齢者大学校に引き継がれています。個人主義・価値観の多様化の今、教養講座・趣味講座等での仲間づくりなどが人気で、ボランティアの講座を目指すシニアは、意外に少ない様です。しかし、SAには、このような生涯学習をボランティア活動に展開していくシステムがあります。生涯学習は、「知る」ことから始めて、「伝える」という行動にしていく。そこには、「究める」ことのプロセスもありますが、ボランティア活動は、一過性に終わるこ

となく、継続していくことが、求められます。その一つに、「地域コミュニティづくり」があります。自分たちのことは、自分たちでする。（＝地域のことは、地域でする）。オープンでないと、出来ません。SA入会資格は、これまでSA講座の修了者に限定していましたが、趣旨に賛同するという文言を付加した改訂を行い、オープンにしました。内閣府の「社会意識に関する調査」によると、「何か社会のためにお役に立ちたい」とする人は、シニアを含め、ほぼ6割に達するとありますが、ボランティアやNPO活動で地域によって偏りがあるようです。地方が盛んで、都会地は、低迷傾向で、特に大阪府は、低いとあります。

“豊かな人生・実りある人生”それぞれの生き方に、このSAの生き方も付け加えてほしい。みなさんの周りにもきっとおられると思います。いろいろな「じんざい」を仲間として、“情けは人の為ならず”の精神で、「みんな、一緒に、面白く」をモットーに（＝みんなちがって みんないい！！）共に活動していきましょう！！

今年が、皆様方にとって、健康で明るい一年でありますよう、お祈り申し上げます。

委員会・部会だより

企画委員会

企画委員長 中川 明子（いずみ17期地域）

企画委員会は歌体操部会、おもちゃ部会、健康増進部会の3部会で構成されているが、健康増進部会は、昨年に続き今年度も休部としました。

大阪府SA連協理事、役員、委員会、部会員各位のご協力、ご支援をいただき計画を実施することができました。中でも今年度の成果は初心者向けおもちゃ教室の開設です。今後とも、皆様のご理解ご協力を得ながら、活動を継続して、新しい活動にも目をむけて行きたいと思っております。また、助成金の獲得及び活用方法についても検討します。

歌体操部会

①歌体操部会

4月から、月1回開催し、部会員の情報交換・交流会・研修会を実施。

②地区別ブロック交流活動

- ・南ブロック 参加者 60余名
9月12日（月）12時30分～14時30分
松原市民「道夢館」フリールーム
- ・中ブロック 参加者 約60名
10月17日（月）13時30分～16時
門真市「ルミエールホール」
- ・北ブロック 参加者 100余名
11月25日（金）13時～15時45分
吹田市千里市民センター
舞台付で会場も広く、よかった。

今後の課題 歌体操を地区地域に広めていくために、府SA連協の理事役員の協力体制。

③歌体操フェスタ2012 実施予定

3月23日（金）11時～15時30分
大阪市北区民センター

おもちゃ部会

①おもちゃ教室

7月から奇数月に開催。
部会員の情報交換・交流会・研修会

②初心者向けおもちゃ教室

12月13日（火）13時30分～15時
大阪ボランティア協会 参加 18名
（以降、偶数月に開催）

③地区別ブロック交流活動

- ・中ブロック
11月3日（祝）14時～16時
「寝屋川公園フェスティバル」
晴天に恵まれ家族連れの参加が多かった。
参加者 1800余名
- ・南ブロック、
2月16日（木）14時～16時 予定
河内長野 ノバティ長野南館 3階
多目的ホール
- ・北ブロック
3月25日（日）13時30分～16時30分
予定。 豊中市蛍池公民館 5階集会室

広報委員会

広報委員長 松本 勉（茨木20期福祉IT）

広報委員会は、ホームページ部会、福祉IT部会、都市環境部会、広報誌部会の4部会で構成されます。広報誌部会以外は年度計画を予定通り遂行できましたが、広報誌部会については高大同窓会合同広報誌参加の可否についての検討や、広報誌部会の要員不足等のため、年間2回発行の予定を1回にせざるを得なくなったことを、残念に思っています。

ホームページ部会

組織の紹介はホームページで、活動の紹介はブログで

部会長 前田 正勝（大阪市 20 期福祉 IT）

地区の活動状況をブログで紹介する「活動ブログ」がスタートして1年が経過しました。現在 18 の地区で、タイムリーな活動報告をアップしていただいています。

また、各地区の年度計画や組織・目的を掲載している「地区ホームページ」も順次リニューアルしています。

<活動ブログ開設の 18 地区> 順不同

高槻、いけだ、寝屋川、松原会、いずみ、茨木、箕面・豊能、交野、藤井寺、泉州南、吹田、大阪市、守口、はびきの、豊中、ひらかた、門真、河内長野

「活動ブログ」の記事掲載数を直近の3か月で見ると、18地区の純活動報告のみではぼ月 20 件の記事数となっていることがわかります。

SAの活動内容は、「地域福祉活動や様々なボランティア活動」、具体的には

- ①まちづくり、
- ②子どもの健全育成、
- ③障がい者と高齢者の自立支援
- ④自らの生きがいくくり

の4点です。内容の一部を紹介します。

<12月（20日まで）の記事>

- ・SA連協の池田地区歌体操研修会（いけだ）
- ・市広報掲載 SA 藤井寺冬季体験教室（藤井寺）
- ・生きがい作り事業「ふれあい電話」（河内長野）
- ・紙ヒコーキ講習会を受けました（いけだ）
- ・内閣府より 社会参加賞 受賞（門真）
- ・SAいけだの広報誌5号が発行！（いけだ）
- ・グラウンドゴルフクラブ 12 月度例会（大阪市）
- ・連協「北ブロック歌体操交流研修会」（高槻）
- ・大阪府社会福祉大会で大阪府知事表彰を受けました（松原会）
- ・ふれあい交流会に参加（松原会）
- ・災害に備えて講義と実演（吹田）

<11月の記事>

- ・「第14回 歌声ひろば」開催（箕面・豊能）
- ・「北ブロック歌体操交流研修会」に参加（同上）
- ・11月の「いきいき農園」ダイコン収穫（同上）
- ・総合フェスタ 2011 に池田市内の授産施設が出展（いけだ）
- ・大阪府高齢者大学校の案内（いけだ）
- ・会員に親睦旅行を、19名の参加（高槻）
- ・2011年度日中語学研修・文化交流（藤井寺）
- ・健康ふくしまつり（藤井寺）
- ・寝屋川市立ひなぎく保育所を訪問（寝屋川）
- ・晩秋の奥河内（河内長野）
- ・「箕面シニア塾」（箕面・豊能）
- ・鶴見緑地公園で野外料理を（大阪市）
- ・SA連協中ブロック合同行事（寝屋川）
- ・グラウンドゴルフクラブ例会（大阪市）
- ・11月の「いきいき農園」にんにくの定植（箕面・豊能）
- ・松原市老人クラブ連合会スポーツ大会で歌体操を行いました（松原会）
- ・男の料理教室「タコ飯」（高槻）
- ・SA泉州南活動『泉南市ちびっ子ホーム』でのおもちゃ作り③（SA泉州南）
- ・貝塚市『ふるさと知っとこフェア』（SA泉州南）
- ・草木でおもちゃ作り「世代間交流活動」活動報告（門真）

今後の課題としては

- ①ブログ、ホームページのさらなる活発化（既発信地区の発信数の増加と、新規発信地区の追加）
- ②SA仲間の絆による活動（SA同期や趣味・テーマによるボランティア活動）のブログでの紹介
- ③ブログと会報（印刷物）との一連化が挙げられます。

福祉 IT 部会

福祉 IT 部会は、ボランティア活動としてホームページで大阪府内の授産製品の紹介を無償でしています。そのために、私たち部会員 15 名、サポーター (SA 連協外) 4 名は「福祉夢ひろば」のホームページを運営し、インターネット環境が備わった大阪市立総合生涯学習センターのネットワークラボで月 1 回の例会を持っています。

「福祉夢ひろば」のホームページに掲載している授産施設は 2011 年 12 月末で 20 カ所、授産製品ショップは 3 店になりました。昨年末と比べ、この 1 年間で授産施設が 8 カ所、ショップが 2 店増えました。



掲載授産施設／ショップの所在地マップ

部会長 榎本 龍彌 (いけだ 21 期福祉 IT)

ホームページへの掲載に加え、各種イベント時にブースを確保し、授産製品の展示・即売も行っています。今年は 9 月 18、19 日にビッグアイで開催された「障がい者作品展」、11 月 23 日に大阪市立総合生涯学習センターで開催された「総合フェスタ 2011」、12 月 10 日に開催された高齢者大学の「文化祭」で、授産製品の展示と販売の代行を行い、上記「総合フェスタ 2011」では授産施設自身による製品の展示と販売もしていただきました。いずれもかなりの売上を達成し、施設の皆様に喜ばれました。

これからもさらに活動を広げ、地域の多数の授産施設が参加されることを願っています。



掲載施設の授産製品の例

都市環境部会

「あすなるプロジェクト。花端会議」に参加して

樋渡 照男 (高槻 19 期地活)

平成 23 年度の偶数月の部会で、遠藤顧問が活動しておられる服部緑地の『あすなるプロジェクト。花端会議』に参加しながら活動の方向性を探ることにしました。

まずは 4 月 29、30 日の両日 春のグリーンフェスタに参加しました。これは豊中青年会議所

の『キャンドルナイト』の準備イベントに SA 連協として当日のプラスチックのコップに東北大地震へのメッセージやイラストを書いたものに手作りのローソクで照らし展示するもので、今年は紙袋も用意してより華やかなものになりそうです。当日のグリーンフェスタに参加して

くれた子どもさんや大人の人にご協力を頂きましたし、加えて豊中ボーイスカウトのビバースカウトやカブスカウトの協力で多くの作品が集まり、10月15日の展示の一部として使用されるという広報もされていて、子ども達には楽しみが増えた感じがありました。また当日は子ども達に向けて紙芝居や大阪府の公園のエコアクションイメージキャラクター“モットちゃん。キットちゃん”の飛び入り参加もあり、遠藤コーディネーター所蔵の、環境や自然の大切さを題材にしたパネルも同時に展示されました。

第14回『あすなろプロジェクト。花端会議』の会議で参加団体との最終の打ち合わせを終了して、10月15日 豊中青年会議所主催『第4回キャンドルナイト2011』の開催日当日は小雨模様の天候で集客が危ぶまれる事もありましたが、朝早くから関係者の協力のもと、午前中に会場の設営が大卒で終り、服部緑地東公園の噴水を中心とした回りに今年から採用した半透明のキャンドル用コップが豊中青年会議所の方々が手分けして効率良く設置を開始して、北大阪急行線緑地公園駅から遊歩道服部緑地公園噴水の回りまで6,000個の設置をされている間に我々サポーターは、

- ・東北の被災地の仮設住宅用の名札作り（裏にはメッセージを添えて）
- ・当日のハンドベル演奏希望者の登録受付（先着15名）



- ・当日の展示設置の“行灯”の制作（参加者の大人、子供と共同で）
- ・半透明のコップの場内への設置の手伝い
- ・設置後のコップの維持管理（回りにロープでの囲い作業）

午後2時迄に準備が完了して、東北大震災の発生時刻2時46分の点灯式を待つばかりに用意が完成に近付きました。メイン会場では、スタッフ、サポーターが集合してセレモニーの用意が完成しました。

この開催には被災地から避難されていて市営住宅にお住まいの被災者にも参加を頂いて点灯式もして頂きまして、あの震災当日のテレビの報道が思い出されて、目を押さえる参加者も見受けられました。

大阪府、公園事務所、商工会議所等の多くの支援を頂きながらの開催であった事は言うまでもありませんが、本当に感謝するとともに強い地域のつながりを改めて感じました。

点火後はメインステージでハンドベル演奏やフラダンス、バンド演奏が行われて午後8時まで楽しい時間の経過を忘れる位に幻想的な雰囲気になり酔い知れる一時でありました。

S A連協都市環境部会の中で5名の参加を頂きましたしS A高槻も40セットのイラスト、メッセージコップや紙袋に書いた楽しい励ましの言葉やイラストも展示しました。

参加をいただいた皆さんに感謝致します。



地区SA活動だより(北ブロック)

SAとよなか

森田 一夫 (18期地活)

月例会で情報交換

ボランティアは、個人でも行えるものであるので発足当初は、個人の活動を互いに支援する形で会は運営された。それが毎月第4金曜日午後の例会として継続している。その場でのボランティア活動の情報が仲間を呼び、サークル活動となり、福祉施設訪問活動以外の分野においては一般市民も参加してのものとなり、SA以外の方が多くなったサークルも出ている。

全体活動の取組み

会員数の増加とともにサークルとしての活動が多くなり、更には、会員全体で取り組む活動も盛んになってきた。その代表的なものが、毎年8月の第1土・日に行われる豊中まつりがある。沖縄音舞台コーナーにおいて、兄弟都市沖縄の伝承楽器“さんしん”の頒布と演奏指導を任されたり、シーサーなどの玩具で子どもたちに楽しい思い出を作ればと炎天下で頑張っている。その他、く

らしかん祭りなどのイベントなどには、おもちゃづくり、折り紙、昔あそび、ふれあいマジックなど会員の技能を発揮できる場には、積極的に参加して好評を得ている。

変わったところでは、阪急豊中駅構内にある障がい者の方たちが授産所や作業所で作ったものを販売する「福祉の店 なかま」にも月1回ではあるが、大勢の会員が参加している。

今後への期待

SA養成講座を修了しても入会されないという事態が続き、2007年には会員数124名であったのが67名まで減少してしまった。高齢者大学校に替って、講座数が縮小され更に減少が続いているが、目的意識をもって学習された皆さんが入会され、積極的に活動されているので今後は、新しい形での運営がなされるのではと期待されている。ただ、この組織は、ボランティア団体であり、同窓会ではないという理念だけは守られて行くことを願っている。

SAいけだ

池田ボランティア祭

村上 弦二郎 (21期地域)

地域で活動するボランティア団体と市民が楽しくふれ合うボランティア祭は好天に恵まれた10月16日、池田駅前公園で開かれました。模擬店やフリーマーケット、手づくりおもちゃの販売など26団体が出店しました。ステージの出演はシルバードバイザーの“いき

いき歌体操”など7団体が参加、会場は例年以上の来場者でにぎわいました。



今年の手づくりおもちゃはミニ・ランドセル、ふんぶんミツバチ、ロケット、野球帽、花ボールなど、おもちゃ部会「さくらんぼ」の仲間が早くから作品づくりにとりか

かりました。「さくらんぼ」は日頃、子どもたちに手づくりおもちゃの楽しさを伝えながら“こころの豊かさ”を育む活動をしています。

ミニ・ランドセルは手のひらにすっぽり入りそうな大きさです。革で作られ、本物の特長をうまく生かしています。ミニ・ランドセルは子どもたちより大人に人気で、出来栄も、思わずほほ笑みがこぼれる作品に仕上がりました。

子どもたちに喜ばれたのは“ぶんぶんミツバチ”と“ロケット”の手づくりおもちゃです。ぶんぶんミツバチは紙コップに風車をつけ、コップの共

鳴でぶんぶんと音がします。ロケットはトイレット・ペーパーの芯に翼をつけ、ゴムひもを使って空に向かって発射します。子どもたちは飛行するものや音のでるおもちゃに興味があるようです。ブース前では実演を兼ねて、仲間が作り方や遊び方を指導しました。

手づくりおもちゃは世代を越えて楽しむことができますが、今では手づくりおもちゃは珍しいものになりました。

ボランティア祭も回を重ねるごとに秋の行事として地域に根付いてきたようです。

SA箕面・豊能

2011年度活動状況

下田 英二 (高1期多世代)

2011年度は、「福祉」「環境保全」「世代間交流」など自分たちも楽しめる活動をし、その結果として社会貢献（地域貢献）に繋がることを目指し、「歌声ひろば」、「いきいき農園」、「おもちゃ教室」を3本柱として活動を行っています。

「歌声ひろば」は、年2回春・秋開催し今年で7年を経過しました。先輩から引き継いだ、このイベントは今後も継続していきます。

「いきいき農園」は、新たに箕面市止々呂美の休耕田に場所を変え、野菜の栽培を行い農業の楽しさを体験しています。来年度は地域の子ども達への体験活動を予定しています。

「おもちゃ教室」は、市内7小学校の夏休み児童保育室で開催し、おもちゃが完成した時の子ども達の嬉しそうな顔を見て元気をもらいました。今後は子育てサークルでの開催も予定しています。

箕面市社会福祉協議会との会議やイベントに参加したり、箕面市主催の「シニア塾」の講座に「歌声ひろば」が採りあげられたり、地域の団体やサークルにSA箕面・豊能が認知されるようになりました。

今後も「いきいき はつらつ 生涯現役」で楽しく元気に活動をしたいと考えています。

また 会員さんの増員（SA修了者以外）で、幅広い分野へのチャレンジも考えています。



歌声ひろば



夏休み「おもちゃ教室」



いきいき農園

SA吹田**朝日新聞大阪本社見学**

吉川 誠 (高1期地域)

SA吹田の活動の一環としてブロック部会で企画した社会見学、大阪市北区中之島の朝日新聞大阪本社を12月7日に訪れました。

アサコムホールで見学担当者から新聞社の説明を聞いたり、案内ビデオを見たあと、実際に新聞づくりをしている編集局や印刷をしている輪転機、刷り上がった新聞を梱包し発送に向けての機械装置などを見学しました。

毎日、家庭に届けられる新聞の制作過程や、新聞の取材から印刷されて家庭に届くまでの仕

組み、新聞紙となる巨大なロール紙などを見学しました。

朝日新聞の創刊時に使用した小型印刷機も展示されていましたが、現在の印刷機である高速オフセット輪転機との違いには驚きました。

最後には見学記念となる集合写真入りの見学記念版と当日発行の夕刊紙をいただき見学を終了いたしました。

今回の社会見学には現在の高大3期生の皆様も参加をいただき、SA吹田の活動の一端を見て頂いた事は大変喜ばしい事と思います。

**SA茨木****地区 SA で出来る SA 養成講座と新会員増強**

伊達 政雄 (18期健福)

SA 茨木は、今年度からの会員資格を SA 養成講座修了者に限らず広く地域に開放したことを機会に、より多くのボランティアを応募しようと考え、その一環として「歌体操ボランティア養成講座」を企画しました。

今回は、趣旨に賛同して戴きました茨木市社会福祉協議会並びに茨木市市民活動センターの共催にて、10月から11月にかけて合計7回の講座を

実施いたしました。

なかでも SA 茨木歌体操の先輩講師陣は、8月度より熱心に講習のための準備に没頭してもらった結果、受講生からの信頼も厚く、厳しさの中にも和やかに講習会も順調に進捗終了し、受講生は揃って修了証書を受領されました。

今回の受講修了者は37名、内28名が SA 茨木に入会されました。



S A 高槻

上田 宏幸（18 期地活）

A 歌体操活動で高齢者の健康維持

「寝たきりにならない させない つくらない」活動と共に歌体操を市民への普及と指導者の育成活動。

- ① 保健福祉関連施設に出向き、施設に居られる高齢者に歌体操を指導する。
- ② 指導者養成と研修会：1～2回/月
- ③ 健康フェアなどに出演して市民への普及活動。



B 高齢者に「手づくり伝承おもちゃ」を指導し、子どもたちに作る楽しさ、喜びを伝えると共に高齢者と子どもとの世代間交流活動。

- ① 主な活動場所 市内の幼稚園や小学校などで学童支援活動
- ② 子育て支援の中で母親に、子供が遊べるおもちゃ作りの指導
- ③ 市、社協や施設での催しに参加しておもちゃ作りコーナーを展開
- ④ 親子おもちゃ作り教室の開校
- ⑤ 指導者養成と研修会：1～2回/月

**C パソコン教室開校**

- ① 会員間の情報共有化へメール活用の普及と指導
- ② 会の広報活動 ブログ
<http://takatukiblog.blog112.fc2.com/>

**D 男の料理教室開校**

男性対象の料理実習で、老後生活への対応



上記活動と共に、

シルバーアドバイザー高槻では

- ① 奇数月第3月曜日
：役員会、幹事会を開催
- ② 偶数月第3月曜日
：全体参加の定例会を開催
- ③ 毎月高槻ボランティア連絡協議会に、役員会、幹事会に参画
- ④ 市内の他ボランティア団体との協働ボランティア参加

等の活動を推進し、結成20周年(平成21年)時に厚生労働大臣賞を受賞した。

地区SA活動だより(申ブロック)

大阪市SA連絡協議会

大阪市SA活動を考える

辻 昌久 (20期産支)

前市SA会長さんが、予期せぬ病で倒れ 前会長さんや各ブロックのブロック長さんから市SAの会長を薦められ、私自身SAの役員を何度もお断りをしたのですが、前会長から、頼りないながら役を引受け、気がつけば残り3ヶ月を残すのみとなり、役を引受けて活動を進めて来ましたが、多くの優秀な方々に支えられたことが、私の喜びとなり、知識や、人柄などを学べたことに感謝しています。

大阪市SAは、SA本来のボランティア活動を、各人が個々に色々な活動をし、また気の合ったものや、同じ趣味をもった者同士が活躍していますが、私自身は二十歳代からボランティア活動 他の人のように自分が自慢できるツールもありませんが、いま 市SAでは幾つかの

動きを進めています。それは部会も部会以外で活躍している人々も、差別や偏見をもたず一緒にSAの活性化と地域社会に認知してもらえるよう動きを進めています。

基本的には参加の自由のなか、どうしたら負担をかけずに参加したくなるような仕組みを作れるかと、SAや他の団体の活躍などを見聞きし、SAが抱えています多くの課題を乗り越える活動を、多くの会員が危機感をもち頑張ってくれていますので、頼りがいがなくて空回りの私でも、どうにか市SAで自分の役をこなせたことに対し、SAのメンバーに有難う、3月に新しい案を出し、次期役員の方々へプラスになればと思っています。

SA守口

(ホームページ、活動ブログより抜粋)

平成16年に「SA 守口・門真の会」として発足、平成22年「SA 守口」を設立した。

1 研修活動

毎月定例会終了後、会員交互に講師となり、おもちゃや紙工作品作りの研修を実施

2 世代間交流活動

小学校のおもちゃ作り指導

3 福祉活動

有料老人ホーム「クルーヴなみはや」
紙工作品づくり指導

4 地域活動 地域との文化交流

守口市ボランティアフェスティバル、守口市民祭り、中央公民開催



毎月のおもちゃ研修



ストロートンボ作り



キュービク作り

SA門真の会

平成16年に「SA守口・門真の会」として発足し、平成22年11月に、特定非営利活動法人「SA門真の会」と名称変更し、新たなスタートをしました。

平成23年9月、地域に根差した日頃のボランティア活動が、社会参加活動として内閣府より認められました。



主な活動

①福祉訪問活動

福祉施設・老人施設への継続訪問活動で、歌体

(ホームページ、活動ブログより抜粋)
操・マジック、アイデアをプラスした紙工作品づくり、話し相手、踊り、季節行事のお手伝いなどによる、ふれあい訪問活動。

②世代間交流活動

小学校、自治会、老人会、子供会、デイサービス施設、学校、PTAなどのイベントに参加し、伝承おもちゃ作り、昔の遊び、ディスコンなどで世代間交流を広める。

③地域交流活動

「市民まつり」「行政地域ボランティアフェスティバル」「ふるさと祭り」「文化祭」など市・社協、福祉施設、学校などのイベントに参加協力する。

④歌体操教室「タンポポ」

平成18年9月に立ち上げ、市民約70名の参加者で活況を呈している。

⑤会員相互の情報交換とボランティア資源の更なる習得

ボランティア資源の更なる習得のため、研修会、講演会、勉強会、親睦会へ参加し、会員に報告する。

SA寝屋川連絡会

会員数： 21名(定例会 月1回)

藤井 貞幸 (19期世代)

22年1200点、 23年 1970点

第2回目から観客数が飛躍的に増えたの

は、チラシを30,000部作成各部門へ配布、

最も効果的だったのは新聞折り込み

(新聞販売店店主のご厚意で無料)

1. おもちゃ部会「定期開催」の部(月1回)

・寝屋川市立エスポアール(児童会館)

・寝屋川市立教育センター(おもちゃ作りと紙芝居)

・不定期開催(公民館、小学校、等多数)

・地域のイベント参加
府立寝屋川公園フェスティバル 毎年11月3日

提供したおもちゃ数 21年 300点



いプラザ香里)

(寝屋川市立エスポアール)

2. 歌体操部会の活動

「ふれあい元気体操」の名称で活動

・定期開催=(ふれあい

- ・不定期開催＝(寝屋川各地区老人会:
寝屋川各地区公衆浴場)
メンバー5名で毎週どこかで活動

3.ユニークな活動

- ・厚生年金保健看護専門学校での授業に、おもちゃ作りの時間を設定してもらって、受講生約40名に、おもちゃ作りの実習2時間＝4～5種類程を学んでいる

- ・国際交流にも、おもちゃを利用している。
- ・23年度より寝屋川市教育委員会よりの依頼で、市立保育所での園児対象のおもちゃ作り(年間6ヶ所程度)、中には0歳児も含まれていたりと、まるで子守状態。

4.おもちゃ作り以外にも、コマ廻しの依頼があったり、今後どんな方向へ行くのか?

5.メンバーの補給が、緊迫の問題でしょうか、よい方法があればお願いします。

SAひらかた

2011年度活動状況と会員募集

福武 勝彦 (19期世代)

明けましておめでとうございます。SAひらかたは、本年も元気でSAらしく、ボランティア活動を行っていく決意です。その会員を昨年12月の定例会で撮影した明るく元気な写真を載せています。(現在の会員総数は31名です。)

活動は、H17年から子どもの健全育成関連、高齢者支援、コミュニティづくりの活動を中心に続けています。

昨年度、新しく“枚方子どもいきいき広場事業”

の実施団体の1つとしても活動しています。

昨年度の実績としては月平均で子どもの健全育成3.3件、高齢者支援4件、コミュニティとの活動1.2件です。参加者人数は子ども育成が多く、高齢者支援は少ない現状です。組織力アップの為、一緒に活動して頂ける方は奮ってご連絡下さい。

活動風景として、年末の凧つくりの行事の写真を載せています。



SA四條畷

高林 光睦 (20期環境)

☆四條畷市民文化祭に参加

10月29・30日に市民の舞台出演と作品展示が市文化連盟の主催で開かれた。これに伝承おもちゃづくりの依頼を主催者から受け、両日出店しブンブンゴマ他の制作指導を実施した。

☆寝屋川公園フェスティバル

11月3日(祝)SA連協中ブロック共催で開かれた。各地区SAが伝承おもちゃを持ち寄ったが、我々はバルーン、ぶんぶんちょうちん、パクパクで対応した。

☆市内小学校のふれあいフェスタ

11月6日(日)某小学校で児童とPTAのふれあい教室があり、伝承おもちゃの制作要請を受けて出店し、消えないシャボン玉、バルーン、折り紙等の制作指導を行う。

☆なわてダンスフェスティバル

11月23日(祝)市内のダンス連盟の要請を受け出店し、消えないシャボン玉、折り紙等の制

作指導を行う。

☆ディスコン競技会の実施

12月21日(水)市高齢福祉課と協働で、市民に参加募集を呼びかけ開催する。ほとんどの参加者は初めての競技で、練習の後で4チーム32名を編成し、トーナメント戦で賞品を目指し楽しく競技した。



SA交野連絡会

SA交野連絡会という名目では、活動していないが、SA各期の修了者がそれぞれのサークルのリーダーになり、SA修了者以外の賛同者も受け入れ、活発に活動している。

主なサークルは次のとおりである。

(各サークルの人数は多少の変動有り)

1) 玉手箱

10期から21期までの修了者17名が加入、会員数31名、おもちゃ作り、マジック、演芸、ニュースポーツ、等の持ネタで、地域のイベントや施設訪問、



八重尾 徹 (18期国際)

学校行事等が、市施設ボランティアセンターを通じ予定が組み込まれる。

2) 矢車草

車いすダンスサークル 障がい者、高齢者施設などを3~4回/月訪問、練習2回/月、SA修了者5名、会員17名

3) HAND

歌体操サークル 高齢者施設、デイサービス、地域のふれあいサロン等に、毎月30回前後の活動依頼が有る、SA修了者5名、会員29名

寝たきりに、ならない、させない、つらい、がモットー

4) 糸ぐるま

寝たきりの人、機能障害を持った人、高齢者の人達に着易い、着せ易い、衣服を工夫し制作、改良、寸法直し、などの希望に対応。

車いす用雨具、手提げ袋、その他介護衣料品を活動拠点のボランティアセンターに見本が多数展示してある。SA 修了者 5名、会員 31名、毎週火曜日活動日

5) 北銀河 15

SA15 期北河内メンバーが立上げたサークル、近隣の施設訪問し、おもちゃ作り等の活動を月 4~5 回訪問

SA 修了者 8名、会員 32名

6) PLANET

年 2~3 回外国人を招いて日本の四季折々の行事を紹介する国際交流イベントを開催していたが、現在は春と秋に開催する「歌声プラザ」が毎回好評で 60~80 人の集客で安定したイベントに成っている。

SA 修了者 12名

7) 日本語プラザ

外国人の為の日本語教室 月曜日午前と金曜日夕方から各 90 分の授業、日本の四季の行事紹介や、世界の料理作り等も体験学習している。SA 修了者 4名 スタッフ 18名、現在学習者 16名

SA大東の会

吉川 勇 (13期世代)

平成 14 年 4 月発足、現在、会員数 12 名が積極的、且つ活発な活動を行い、地域・各種団体に信頼と成果を喜ばれている。会の活動は、要請を受けて実施するのが原則としている。

主たる活動は、小学校放課後児童クラブ・子育て支援・障がい者支援活動における伝承玩具作り、地域諸団体・高齢者施設での歌体操・マジックである。

平成 22 年度は、70 数回 (内イベント 9 回) の活動を行い、興味関心を持っていただき好評を得てきた。当初に比べ、年々増加の傾向にある。

大東の会の強みは、会員相互が熱心であり、定例会 (月 1 回) 後の玩具作り実習は、なごやかで、種々習得され、今では各人が玩具作りの 1 レパートリーを受け持ち、世代間修了者 4 名と共に活動を円滑に進めている。

来年度は、設立 10 年目となり、新しい玩具作りの研修、歌体操の練習に励み、幅をひろげ要望・期待に応えていく覚悟である。

無理なく、なごやかにをモットーに進んで行きたい



SA八尾

二葉 登代子 (15期福祉)

私達SA八尾も「活動の趣旨に賛同頂ける方」を含めての活動となりました。

現在会員数も増え、活動の幅も広がってきました。5周年記念として、スタートした「SA八尾ふれあいまつり」は4回目を実施しました。当日は、高大の受講生の方々の応援もあり、午前中のお客さんの出足が良く、多くの来客を楽しみにしていました。だが、昼頃からの雨にたたられたのか、午後のお客さんは少なく、残念でした。しかし、恵まれた会場に、体験ブースとアトラクションとの連携がうまくでき、私達仲間の交流を、存分に楽しみました。

私達のボランティア活動の特徴は、「会員は多様なボランティア資源をもっていて、お互いに助け合って、活動をしている」、と言えるでしょう。

活動の具体例を挙げますと、歌体操、マジック、ディスコン、絵手紙、スリーA等の指導、

玩具、押し花、折り紙、自然素材による小物等の作品制作および指導、子育て支援活動、おもしろ算数教室の主宰、これらを活かし高齢者や子どもへの定期的な活動をしています。今年度は、特に社会福祉協議会等からの講師依頼が多く、非常に多忙でしたが、その分それだけ多



くの笑顔や喜びの笑顔に、接することが出来ました。

定例会の報告等は出来るだけ簡素にし、後半の研修では、互いにボランティア資源を教え合っています。この交流を通して、お互いの活動の支援や幅広い活

動に役立っています。

永く活動が出来るためには、「楽しく交流し、情報を気軽に教えあい、助け合える信頼できる仲間がいる」ことだと思っています。

私達のモットーは、「無理をしないで、楽しむ。助け合いながら、いつまでも元気に活動する」ことです。

地区SA活動だより(南ブロック)

SA松原会

関野 伸一 (19期福祉IT)

◆大阪府知事表彰を受けました

11月25日(金)に開催された大阪府社会福祉大会で大阪府社会福祉ボランティア団体の知事表彰を受けました。これはひとえに諸先輩方が永きに渡って活動されてきた事が評価されたものだと思います。

◆ふれあい交流会に参加しました

11月6日(土)に行われた松原市内の授産施設、ボランティア、学生などによ



るふれあい交流会におもちゃ作りで参加しました。400 人からの人数で汗だくになりながら楽しいひと時を過ごし、ストローとんぼに参加者はきゃっきゃと喜んでくれました。

◆老人クラブ連合会スポーツ大会に参加しました



10 月 21 日（金）に行われた松原市老人クラブ連合会スポーツ大会に歌

体操で参加しました。日頃から老人クラブで一緒にしている方たちが沢山参加され、パワーに圧倒されました。

◆SA 連協南ブロック歌体操交流会が開催されました

9 月 12 日（月）に松原市道夢館で SA 連協南ブロック歌体操交流会が行われました。各地区から沢山のグループ/個人の方のご参加を頂き、南ブロックらしく河内音頭も飛び出し、和気あいあいと交流会を行うことができました。皆様のご協力に感謝致します。



SA はびきの

エコイベント 2011 ～未来のためのエコアクション～

野村 匡則（17期地活）

平成 23 年 7 月 23 日、24 日の両日、LIC はびきのので、館内外において「エコイベント 2011」～未来のためのエコアクション～と称して夏祭りが開催されました。

串で竹串ゴマ、ボール紙と糸紐でブンブンゴマ、ストローと折り紙でストロートンボ、雨傘入れビニール袋と折り紙でロケット作りを指導しました。

SA はびきのは羽曳野市ボランティア連絡協議会の一員としてブースで環境に優しい材料を用いて低学年向け手作りおもちゃづくり教室を出展しました。



内容は牛乳パックと瓶の蓋でパチパチ・パクパク、ボール紙と竹

子ども達は指導者の指図に従い、色塗りや糊を使って仕上げていき、最後は自己の作品で遊びながら笑みを浮かべ満足げにしていました。

特に男子はロケット飛ばしに悦に入っていました。

来所者は両日で約400人でした。

S A藤井寺

～市民にボランティア体験教室募集し～ PPK提案を

津田 幸子 (21期 福祉IT)

市内及び近隣中学校で「家庭科授業」「伝承遊び講座」

藤井寺市社会福祉協議会、市ボランティア連絡会に所属し、市民の健康づくり・街づくり・世代間交流・高齢者の IT 支援・国際交流を目標に会員 11 名、毎月の定例会と研修会で各々の活動を報告し協力して地域の福祉に貢献できるよう努力しています。

☆定期活動

- パソコン教室・・・8 年目 WORD・EXCEL コース共 24 回制講座
- 健康体力教室・・・週 1 回デイサービス・自治会でボランティア
- 太極拳教室 2 コース・・・月 5 回
- お手玉サークル「遊」
 デイサービス・高齢者施設・自治会でボランティア

☆ボランティア活動

□年 2 回 S A 藤井寺主催「体験教室」開催
市広報に掲載し市民の方に参加いただいています。

- 「パソコン」「おもちゃづくり」「太極拳」
- 「お手玉づくり/遊び」「スポーツバスケット」
- 「介護予防ストレッチ体操」



知事賞 受賞致しました

S A富田林

市民ふれあいまつりへの参加

平田 常二 (12 期地活)

平成 12 年度来、S A 南河内支部の発展的解散により、私たち富田林地区 S A の仲間は、S A 9 期生の小田裕男、まち子ご夫妻のご尽力により、平成 13 年 4 月 1 日『S A 富田林』グループを新たに立上げ、富田林市内や南河内地域で、幅広くその活動を続けて参りました。

チームへの慰問、お一人暮らしの高齢者宅への給食活動や安否確認、高齢者大学の経営参画、折り紙教室、「ネパールの子供達」の支援活動等々、その個性溢れる多様なボランティア活動には、「S A 富田林グループ」として誇りに思います。

S A 会員各自が、自分たちの出来ること、得意なこと、やりたいこと等を活用して広く市内の学校や幼稚園、公民館、施設、老人ホ



この様なグループが、毎秋、年に一度の集合活動を行います。

毎年11月23日 富田林市主催の「市民ふれあい祭り」が市内石川の河川敷グラウンドで開催されます。この日は朝から多くの市民が河川敷グラウンドに集まり、テントの屋台や売店、演芸の舞台等、終日賑わい楽しい一日を過ごします。

私たちの『SA富田林』も、この「市民ふれあい祭り」のイベントには、毎年参加をしています。

私たちの出し物は、毎回「折り紙で作る風車」ですが、これも過去小田様ご夫妻によるご努力の賜物で、毎回「折り紙で作る風車」は、非常

に好評です。

来場者が、作品の「風車」をクルクル回しながら会場内を歩き回るのはです。

目立って当たり前、準備した資材は、毎回昼過ぎには総て無くなります。

過去に、この小田ご夫妻の「風車」は「最高の華だ」と褒めて戴いたと聞いています。

この「良き伝統行事」を「SA富田林の看仮行事」として、私たちは後輩の皆さんに継続して戴きたいと願っています。

SA河内長野

星川 幸次 (18期福祉IT)

私達の活動は平成3年から続け今年で21年になります。活動拠点は河内長野市主体に近隣市で、会員は21名です。主な活動は多岐にわたっています。要約して紹介します。

1, いきいき歌体操

健康維持と楽しみを求めて活動し、また、老人ホームなどに慰問。

2, ふれあい電話

一人で外出できないお年寄りに「お元気ですか」の声かけ活動。

3, 天見生きがいサロン

中高齢者のパソコン教室、囲碁将棋、農園栽培で楽しいサロン活動。

4, 天見子ども自然と遊びの教室

教育委員会・NPO法人ナック主催のスタ

ッフとして、天見地区で月1回子供たちに自然と親しみ遊ぶ教室を支援。

5, めだかの学校

高齢者が楽しく学び心身を鍛錬と社会参加を促し明るい地域社会作りのための講座・講演など。

6, 放課後子ども教室

「おもちゃ作り」を市社会教育課から依頼を受け小学校4校に、おもちゃ作りの楽しさを教えている。

7, 慰問活動

近くのデイサービスや特養、敬老院に慰問や車椅子介助、イベント支援。

8, その他

河内長野市の「市民まつり」や「ボランティアフェスティバル」等のイベントに参加。



歌体操



おもちゃ作り



慰問活動

堺SA連絡協議会

織田 武文（高大2期地域）

堺SA連絡協議会は 折り紙、おもちゃ、歌体操 等を中心として活動を行っています。登録会員数は 4月当初は63名でしたが、呼びかけや活動に参加されての登録があって、12月現在では82名。ほぼ全市域に亘っています。

会議・例会はそれぞれ毎月一回開催して取り組みの連絡・調整を行っています。そして、月例会の後は珈琲タイムをとって「おもちゃ」「折り紙」などの研修会をおこなってスキルの上昇に努めています。

日常的な活動は、地域イベントへの出展、指導老人施設や障害者施設への介護手伝い。小学校の放課後の活動におもちゃ作り、折り紙の指導に参加しています。また、堺SAのメンバーが講師となって「折り紙教室」を「国際障害者交流センタービッグアイ」で毎月実施しています。

対外的なイベントにも積極的に参加しています。
・泉北ニュータウンの市民活動団体が集まる「みどりのつどい」に折り紙で参加。

いずみSA

いずみSAに加入して1年半！

百々 トミ子（高大2期地域）

仕事と自宅の往復で1日が終わりその繰り返し。十年、地域の方と挨拶はしても地域のために何かしてきたのだろうか？と思い高齢者大学・地域コミュニティ科への入学で、地域でのあり方などのノウハウを教えてください少しは役に立ってるかなと…？いずみSAへのデビューです。

・市民健康自主活動交流会で演技した歌体操は好評を博しました。

・さかいボランティア・市民活動フェスティバル 構成団体として企画に参加。

堺SAブースでは喫茶、折り紙、おもちゃ作り、歌体操のステージ演技（写真）、パネル展示など、盛りだくさんな出し物を総力を挙げて出展しました。

・国際ナショナル・ピープル・カーニバル（インピカ）（堺市在住の外国人との交流イベント）にも子供達を対象にしたおもちゃ作りを依頼されて出展しました。



いずみSA？何するの、どんなところ、どんな人の集まり？など初めて大海へひとり飛び込むような心境でした……が、入ってみると思っていたよりは…の心境になりました。年齢の差・環境の差、さまざまな差を感じましたが、今は、私もあとから入ってくる方に私が不安だったような心境にならないように頑張らなきゃ

と思いつつペンを走らせています。

加入して未だ1年足らずですが活発な活動1ヶ月に1回の例会(共通認識の共有)・そして、それぞれのイベントなどへの参加や保育所・幼稚園・小学校・施設などへのおもちゃつくりを軸に心の輪への交流や出前イベント、特にバルーンアートつくり・跳ねガエル・折り紙などと

数多くの活動、その合間に自分たちの腕を磨くことも忘れずに歌体操部会・おもちゃつくり部会と学び伝達していくことに頑張っている姿は美しくもあり、ときには眩しく見えます。

地域の活性化と老若男女に関わらず、地域でいきいき生活できるように一人でも多くの方の参加が望まれます。



きりえ作り



どんぐりのストラップ作り



バルーンアート作り

SA泉州南

大人の林間学校

下中 誠太 (21期福祉IT)

SA泉州南は、大阪府シルバーアドバイザー養成講座修了者等による南泉州地区(北は岸和田市から南は岬町まで)の広大な範囲にまたがって活動しているボランティア団体です。

活動分野は、「福祉」・「世代間交流」・「地域活性化」等と多岐に亘っており

“楽しく・ゆかいに・健康に自らの生きがいくくり!”

をスローガンに、個人・グループそれぞれの自主性を尊重した活動として、活動紹介・報告・懇親会など情報交換による会員の活動の充実・深耕を目指しています。

岬町在住の会員による同町休校中の小学校や近隣の里山等での「大人の林間学校」活動は、毎回たくさんの参加者から好評を得ています。

「是非のご参加をお待ちして居ります。」



大人の林間学校

主催 NPO法人まちづくり岬

後援 大阪府シルバーアドバイザー泉州南

お問合せ 渡辺 (SA養成講座16期 地域活動)

携帯 080-5703-6875 まで